

平成 29 (2017) 年度 第 1 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	月 日 ()	名	
第 2 回	月 日 ()	名	
第 3 回	月 日 ()	名	
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題 (活動概要)

地区代表者が選出できず、今年度の活動はありませんでした。

●今年度のまとめ

●次年度にむけて活動内容

平成 29 (2017) 年度 第 2 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	月 日 ()	名	
第 2 回	月 日 ()	名	
第 3 回	月 日 ()	名	
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題（活動概要）

今年度は 1 回も地区会議を開くことができませんでした。

●今年度のまとめ

第 2 地区は今年度図書館研究会への会費未納校・未登録が多く、担当者不明のまま連絡を取ることもままならない状態でした。

●次年度にむけて活動内容

どうか 1 回は開催したいと思います。そのためにどのように担当者（不明校）に連絡を取るかが課題と考えます。

平成 29 (2017) 年度 第 3 地区会 年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	月 日 ()	名	
第 2 回	月 日 ()	名	
第 3 回	月 日 ()	名	
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題 (活動概要)

●今年度のまとめ

今年度 第 3 地区会活動はできていません。

●次年度にむけて活動内容

地区会を開催すること。

平成 29 (2017) 年度 第 4 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	7月12日 (水)	12名	大阪府立市岡高等学校
見学会	12月7日 (水)	14名	近畿大学アカデミックシアター
第 2 回	12月13日 (水)	15名	大阪教育大学附属高等学校平野校舎
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題 (活動概要)

- ・テーマを決めず、図書館運営全般について困っていること、疑問に思っていることについて意見を出し合った。

●今年度のまとめ

①下記のテーマについて情報交換を行なった。

- ・図書オリエンテーションの実施方法について
- ・選書方法について
- ・職員室等に散在している新聞の保存方法・保存期間について
- ・図書館への別室登校の支援について
- ・学校情報ネットワーク更新に伴う図書システムの変更について (公立)
- ・書籍の複写と著作権について
- ・図書室を自習室として利用することについて
- ・図書だより・ニュースレター発行について
- ・総合学習・修学旅行の事前学習等授業における図書館利用について
- ・読書感想文発表会・かるた大会・デザインコンテスト・読書マラソン等の図書館活動について
- ・図書の寄贈について (保護者・企業より)
- ・図書委員会の活動について
- ・書籍の複写と著作権について
- ・利用者数の増加と貸し出し数の減少について

②11月に実施されるトーハンブックフェアの案内をメール配信した。

③12/17 近畿大図書館アカデミックシアターの見学を実施した。

●次年度にむけて活動内容

- ・第4地区代表当番順番表に基づき次年度の当番校へ引き継ぎ。

平成 29 (2017) 年度 第 5 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	12月 6日 (水)	7名	大阪府立北かわち臯が丘高等学校会議室
第 2 回	3月 28日 (水)	7名	関西創価高等学校
第 3 回	月 日 ()	名	
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題 (活動概要)

第 1 回 北かわち臯が丘高校司書教諭藤江より、新学習指導要領における、Key Word「主体的対話的で深い学び」にむけての図書館教育指針を紹介し、2020年大学入試改革で問われる学力を大学入試センターの資料をもとに予測し、これからの図書館教育は、調べ学習に終始せず、文献や図版の多様な資料を比較評価し、自分の意見をまとめる言語表現力まで養成することが求められていることを確認した。さらに、最近のアクティブ・ラーニングの授業実践例を見て、資料を生徒に分析させることに取り組んだ授業でも、資料は教員が用意したプリントで普通教室の授業が多く、現状では図書館での資料を活用する能力育成という観点からは不十分であることが明らかになった。今後各校において、一層図書館教育の環境整備をうたえる必要があるということを確認した。その後、各校司書・司書教諭より、活動報告、問題点、苦勞している点などを紹介しあった。その後茶話会、会場校の図書館見学を行い、終了した。

第 2 回 前回の「新学習指導要領」のテーマを引き継ぎ、関西創価高校司書教諭より「新学習指導要領と学校図書館」について報告。「主体的・対話的で深い学び」について、また「新学習指導要領」における「学校図書館」関連記述の資料提供をもとに、図書館の今後の在り方を確認した。その後、各校の活動報告、課題等を話しあい、最後に来年度の担当校について検討し終了した。

●今年度のまとめ

2017年度は「新学習指導要領」というテーマをもとに2回開催でき、学びのある地区会となった。校務多忙のためか地区会出席者は少ないが、当番校を公立と私立で持ち回りにすることによって、地区会に対する意識を持つ担当者が今後、増えてくるように思う。

各校の状況や司書と司書教諭の立場の違いで、それぞれの課題などを話し合える機会ともなり、有意義な一年となった。

●次年度にむけて活動内容

2018年度は、公立、私立の当番校で、地区会の開催、内容を検討する。

平成 29 (2017) 年度 第 6 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	7月 5日 (木)	12名	私立アナン学園高等学校
第 2 回	8月 2日 (水)	9名	大阪府立八尾北高等学校
第 3 回	12月 6日 (水)	11名	大阪府立玉川支援学校
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題 (活動概要)

第 1 回…総会・地区代表者会議報告、「6 地区の司書がすすめる本」の POP 紹介、情報交換

第 2 回…研修会報告と今後の予定、図書館グッズ・POP 実践、情報交換

第 3 回…「6 地区の司書がすすめる本」～感動する本の紹介～、情報交換

●今年度のまとめ

今年度の地区会議では毎回 10 名前後の参加者があり 3 回開催した。夏休み期間を利用して 1 日をつかいお悩み相談や POP 実践、手作りグッズを作るなどして交流を深めた。また支援学校の先生方の参加で、学校の抱える問題も共有することができ、府立図書館の方の参加もこの地区ならではの特典であった。

- ・「6 地区の司書が進める本」の POP 紹介や「6 地区の司書がすすめる本」～感動する本の紹介～。
- ・100 均で秋バージョンのディスプレイ用フレーム作成や POP の実践(文字の練習等)

●次年度にむけて活動内容

来年度も図書館の活性化に向けて、おいしい情報や問題点などを共有していきたいと考えている。引き続き、「司書の〇〇する本」や「司書おすすめ本手づくり POP」などはおこなってきたい。

平成 29 (2017) 年度 第 7 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	月 日 ()	名	
第 2 回	月 日 ()	名	
第 3 回	月 日 ()	名	
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題 (活動概要)

今年度活動はしていません。

●今年度のまとめ

●次年度にむけて活動内容

次年度も活動再開のめどはついていません。

平成 29 (2017) 年度 第 8 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	5 月 10 日 (水)	15 名	堺市立中央図書館
第 2 回	7 月 5 日 (水)	10 名	大阪府立堺工科高等学校
第 3 回	10 月 18 日 (水)	9 名	大阪府立金岡高等学校
第 4 回	11 月 29 日 (水)	9 名	大阪府立堺上高等学校
第 5 回	2 月 14 日 (水)	8 名	賢明学院中学高等学校

●今年度研究課題 (活動概要)

1. 公立図書館との連絡会

第 1 回地区会開催後、公立図書館との連絡会を開催。ヤングアダルトの読書についての情報交換や堺市立図書館が行っている団体貸出、電子図書館の利用についてなどの説明を受けた。

2. 図書館運営について

今年度の研究テーマ

①図書館の PR 方法

図書館だけに限らず、職員室にて教職員向けの書籍を展示・貸出をする。

また生徒には教室に近いところで期間限定の出張図書館を催し、貸出・返却をする。

②選書の仕方について (リクエストにどこまで対応するのか)

限られた予算の中での購入なので、リクエストをすべて購入するのは難しい。

今年度の購入方針を定め、それに合っていれば購入する。断る場合は、必ず根拠を持っておく。

3. 情報交換

4. 各校おすすめ本の紹介

教職員からおすすめや、生徒がよく手にとる本、学校図書館に蔵書すべき本など各校から紹介した。

●今年度のまとめ

1. 昨年まで図書委員交流会を行っていたが、今年は実施できていない。参加校の減少、引率の問題、行事運営時間の問題から、運営が難しくなっている。

2. 担当者の不在・配置換え等で、図書館業務に支障がある学校も見受けられる。引き継ぎなどを考えた場合にもマニュアルは必要であり、早急に検討すべき課題である。どうすれば、限られた時間のなかで効率よく業務を行うか、アイデアを出し合い共有する必要がある。

3. 実際に図書館に行くことで、気づかなかった改善点などを検討することができた。

4. 現物を見ながら情報交換できることや、学校の校風などを自校と比べて蔵書を検討することができることや、関連書籍の情報なども貴重な情報源となっている。

●次年度にむけて活動内容

公立図書館との連絡会並びに第一回地区会を 5 月に予定している。生徒図書委員交流会は継続すべきかどうか検討する。

平成 29 (2017) 年度 第 9 地区会年間活動報告

回次	開催日	出席者	会 場
第 1 回	10月 18日 (水)	8 名	大阪府立久米田高校 応接室
第 2 回	1月 24日 (水)	8 名	岸和田市立産業高校 図書館
第 3 回	月 日 ()	名	
第 4 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	
第 回	月 日 ()	名	

●今年度研究課題（活動概要）

特に課題は決めず、各校の現状報告、問題点の共有、生徒図書委員会を中心とする生徒の図書館への関わり、おすすめ本の紹介等を話し合った。

第 2 回では、岸和田市立産業高校の図書館の見学をさせてもらった。常駐の司書が居る学校なので、生徒が図書館に興味を持ってくれるようないろいろ工夫をされていた。さらに、教員だけではなく、美術系の学科やクラブの生徒が積極的に図書館の環境整備に参加しているということで、参考になることが多かった。

●今年度のまとめ

図書専任の司書がいる学校と、図書館担当者が他の業務も兼任している学校では、図書館の管理、運営面でどうしても開きがある。一方専任がいる学校では、肌理細やかな工夫をして生徒が図書館を利用しやすい環境整備ができる反面、すべての問題を一人で抱えることになり、負担が大きくなっている。

●次年度にむけて活動内容

今後全校に図書専任の職員の配置を求める一方、司書が一人で抱え込むことのないよう、情報交換しながら問題の解決を目指す。